

令和6年度 第4回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金） 9時10分から11時10分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 古橋 廣一、村上 久美子（CSコーディネーター兼任）、嶋野 直輝
（CSコーディネーター兼任）、小粥 裕理、塚本 昌代、袴田 則司、
西尾 純
- 4 欠席委員 伊代田 尚志（CSコーディネーター兼任）、中村 勝信、池谷 莊一
- 5 オブザーバー 伊佐見協働センター
- 6 学 校 高須 祥郎（校長）、米山 由紀子（教頭）、川合 弘志（教務主任）、
澤木 美加（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美
- 10 議長の選出

第3回学校運営協議会での決定通り、小粥委員が議長を務めることを確認した。

11 協議事項

《本年度のまとめと来年度に向けて》

- （1）令和7年度の伊佐見小の学校運営基本方針について
- （2）令和7年度教育計画について
- （3）令和6年度の学校運営協議会の評価について
- （4）令和7年度の学校運営協議会の取組について

12 会議記録

会議に先立ち、授業参観を行い、子供たちへのメッセージをカードに記入した。

- （1）令和7年度の伊佐見小の学校運営基本方針について
- （2）令和7年度教育計画について

高須校長より令和7年度の伊佐見小学校運営基本方針について、続いて、川合教務主任より令和7年度教育計画について説明があり、委員からは以下の発言があった。その後、全員異議なくこれを承認した。

・グラウンドデザインに「地域を繋ぐ学校」とあるので、コーディネーターとしてボランティアを増やしていきたい。また、教育計画の異学年交流が楽しみ。校内だけでなく、中学生との交流もできれば尚良いのでは。例えば読み聞かせボランティアが少ないので、中学生に来てもらう、など。（嶋野委員）

・グラウンドデザインはどのように利用しようとしているのか、誰に向けているのか。目指す子供像の「未来の大人」というのは飛躍しすぎているのではないか。また、先生だけでなく保護者や地域の人にも分かってほしいなら、「包摂性」といった言葉ではなく、もっと分か

りやすい言葉を使ってほしい。子供とも共有したいのであれば、子供の目につくところに貼ってはどうか。(古橋委員)

→「未来の大人」という言葉はいずれ大人になっていく子供たちのキャリア形成を常に意識したいという思いで使用しているので理解していただければ。「包摂性」という言葉は「はままつ人づくり未来プラン」にも使われている言葉なので、それを踏まえて使用した。(学校からの回答)

・未来の子供像といっても、子供はまだ自分が大人になった時のことをあまり考えていないので、子供に分かるようにとまでは考えなくても良いのではないか。また、語句なども興味のある人は自分で調べられるので問題ない。(塚本委員)

(3) 令和7年度の学校運営協議会の評価について

米山教頭より、別紙資料の学校運営協議会の評価をもとに説明があり、委員からは以下の発言があった。

・グループ協議があったのが良かった。委員からいろいろな意見が出て、地域の方々がいかに伊佐見小のことを考えてくれているかが分かり、保護者の立場からありがたいと感じた。(嶋野委員)

・コーディネーターとしてボランティアの募集をしているが、参加してくれる人が固定化している。もっと情報発信して、ボランティアに参加することでこんな良いことがある、こんなことに気づいたといった良い面を、保護者同士で共有してほしい。(村上委員)

・PTAとしてもボランティアに協力したいが、今年はあまり機会がなかった。来年度に引き継いでいきたい。(西尾委員)

・地域でも機会があれば情報発信していきたい。(袴田委員)

・ボランティアに参加することで、小学生という人生の土台を作る一番良い時期を見守ることができし、子供を通じて地域が繋がってゆく。そのためにも正しい情報発信を。(小粥委員)

(4) 令和7年度の学校運営協議会の取組について

米山教頭より、別紙資料の令和7年度の学校運営協議会計画をもとに説明があり、協議内容については、協議会開催時に必要とされる議題を取り上げていくことを確認した。

13 報告事項

米山教頭より、令和6年度夢育やらまいか事業の報告、村上コーディネーターより、学校支援活動(ボランティア活動)についての報告があった。

14 連絡事項

米山教頭より令和7年度の運営協議会の会の持ち方、令和7年度の委員についての説明と行事(6年生を送る会、卒・入学式)への出席依頼があった。